

パーシャルデンチャー 活用力

ライフコースに沿った基本から使いこなしまで

東京医科歯科大学大学院
部分床義歯補綴学分野

和田淳一郎

東京医科歯科大学大学院
部分床義歯補綴学分野

高市敦士 著

東京医科歯科大学大学院
部分床義歯補綴学分野

若林則幸

若手歯科医師 必読!

先を読み、問題を解決するためのパーシャル臨床学

日常臨床においてディシジョンメイキングに迷う場面で

パーシャルデンチャーの「活用力」をさまざまな場面で
便利に活用する力を身につけるために

パーシャルデンチャーは、口腔機能が急激に変化する年代に必要とされ、一時的な処置ではなくライフコースに沿った治療としての役割が求められます。一般的に歯科治療を多く経験した患者さんほど口腔内の状況が複雑化している現状もありますが、歯科治療には、治療開始から終了までの道程と長期予後を見据えたディシジョンメイキング（方針決定）とインフォームドコンセントが重要となっています。



本書はパーシャルの1500症例から治療のある一側面にテーマを持った症例をピックアップし、それぞれの治療のポイントの解説、および詳細解説では別症例の説明をていねいに行っています。各章のテーマはすべてパーシャルの治療操作の必須ステップを掲載しました。各章の内容を確認することで、臨床におけるディシジョンメイキングと活用力が自然と体得できる書となっています。

■A4判/176頁/オールカラー

■定価（本体 8,000円+税）

ISBN978-4-263-44460-3

CONTENTS

Case 1—パーシャルへの導入

A 症例 > 突然、義歯になると宣言された

B 解説 > 治療開始時に行うこと

Case 2—クラスプが緩くなった

A 症例 > 使用中のパーシャルが緩い

B 解説 > 前処置とデザイン

Case 3—ブリッジからパーシャルへ

A 症例 > ブリッジが脱離してパーシャルが必要となった症例

B 解説 > 印象採得と床縁形態

Case 4—咬合挙上が必要なとき

A 症例 > パーシャルによる咬合挙上が必要なとき

B 解説 > 新しい咬合関係の決定と記録

Case 5—パーシャル装着のルーティン

A 症例 > 装着した日から噛めるようになりたい

B 解説 > 義歯装着と調整

Case 6—変化への対応

A 症例 > 予期されていた増歯修理を行う

B 解説 > 義歯修理の背景を理解する

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>

CONTENTS

序章 パーシャルを活用するためのデザイン オンメイキング

Case 1 パーシャルへの導入

A 症例 突然、義歯になると宣言された

- 1 経過のまとめ
- 2 診 査
- 3 診 断

実際の治療経過

- 1 プロビジョナルパーシャル（即時義歯）の製作
- 2 設計の要点
- 3 歯周基本治療
- 4 プロビジョナルレストレーション
- 5 ブリッジ、ディフィニティブパーシャルの製作
- 6 ディフィニティブパーシャルの調整

まとめ

B 解説 治療開始時に行うこと

- 1 診断のポイント：着目する4つの視点
- 2 インフォームドコンセント：患者さんに何をわかってもらうのか

Case 2 クラスプが緩くなった

A 症例 使用中のパーシャルが緩い

- 1 経過のまとめ
- 2 診 査
- 3 診 断

実際の治療経過

- 1 概形印象（アルジネート印象材）
- 2 前処置
- 3 義歯の設計
- 4 印象採得（上顎）
- 5 咬合採得
- 6 上顎ディフィニティブパーシャルの装着
- 7 義歯の着脱指導

まとめ

B 解説 前処置とデザイン

- 1 パーシャルにおける前処置の重要性
- 2 実例で示す前処置の例
- 3 前処置の手順
- 4 自立たないクラスプの選択
- 5 支台歯の連結、二次固定、残根への変更

Case 3 ブリッジからパーシャルへ

A 症例 ブリッジが脱離してパーシャルが必要となった症例

- 1 経過のまとめ
- 2 診 査
- 3 診 断

実際の治療経過

- 1 治療順序の考慮
- 2 歯周初期治療と下顎パーシャル製作
- 3 下顎パーシャルの設計
- 4 印象採得（下顎）
- 5 咬合採得
- 6 下顎パーシャルの装着
- 7 下顎パーシャル装着4カ月後にブリッジが脱離した
- 8 上顎プロビジョナルパーシャルの製作
- 9 上顎プロビジョナルパーシャルの設計
- 10 義歯の装着
- 11 義歯の着脱指導

まとめ

B 解説 印象採得と床縁形態

- 1 部位による床下顎堤の違い
- 2 辺縁形成と印象採得の手順
- 3 筋形成を要しない場合
- 4 全部床義歯とは何が違うのか

Case 4 咬合挙上が必要なとき

A 症例 パーシャルによる咬合挙上が必要なとき

- 1 経過のまとめ
- 2 診 査
- 3 診 断

実際の治療経過

- 1 プロビジョナルパーシャルの製作
- 2 プロビジョナルパーシャルの設計
- 3 プロビジョナルパーシャルの装着
- 4 プロビジョナル装着後の機能を経過から観察する
- 5 残存歯の歯冠補綴治療
- 6 ディフィニティブパーシャルの製作
- 7 ディフィニティブパーシャルの装着
- 8 装着後の経過

まとめ

B 解説 新しい咬合関係の決定と記録

- 1 高径の変更が必要な症例とは
- 2 咬合挙上を回避する場合
- 3 咬合採得を正確に行うために

Case 5 パーシャル装着のルーティン

A 症例 装着した日から噛めるようにしたい

- 1 経過のまとめ
- 2 診 査
- 3 診 断

実際の治療経過

- 1 抜歯窩の上皮化の確認
- 2 ディフィニティブパーシャルの製作
- 3 装着のルーティン
- 4 抜歯部位のリライン

まとめ

B 解説 義歯装着と調整

- 1 義歯挿入時の調整
- 2 維持力と適合の確認
- 3 咬合調整
- 4 粘膜面の調整
- 5 調整完了

Case 6 変化への対応

A 症例 予期されていた増歯修理を行う

- 1 経過のまとめ
- 2 診 査
- 3 診 断

実際の治療経過

- 1 歯周基本治療
- 2 歯周基本治療後のポケットチャート
- 3 ディフィニティブパーシャルの設計の要点
- 4 メンテナンス
- 5 増歯修理 診察当日の流れ
- 6 義歯修理の詳細

まとめ

B 解説 義歯修理の背景を理解する

義歯修理の分類

A. 人工歯

- 1 A-1：人工歯の脱離と破折
- 2 A-2：人工歯の摩耗

B. 義歯床

- 1 B-1：レジン床の破折
- 2 B-2：顎堤と粘膜の変化
- 3 B-2a：粘膜面の不適合
- 4 B-2b：粘膜の損傷
- 5 B-3：設計の変更

C. 支台装置

- 1 C-1：支台装置の破損と不適合
- 2 C-2a：支台歯の喪失
- 3 C-2b：支台歯の形態変更（支台装置を継続使用した例）
- 4 C-3：設計の変更（残根→クラウン：減歯修理）

D. メタルフレーム

- 1 D-1：メタルフレームの破折
- 2 D-2：レジンからの脱離

パーシャルデンチャーの修理方法をチェックするためのフローチャート

切り取り

医歯薬出版 ご注文承り書

パーシャルデンチャー活用力 ライフコースに沿った基本から使いこなしまで () 冊

●納入店ご指定希望
※納入店ご指定の場合
手数料はかかりません

〔ご指定納入店名〕

●直送希望
〔2つの方法から
お選びください〕

| | |
|---|----------|
| ① | 代引 450円 |
| ② | 後払い400円* |

*②の後払いの請求書は
(株)ネットプロテクショ
ンズから別送となります。

●お名前

●ご住所 (〒 -)

●TEL.

★必要事項をご記入の上、FAX. 03-5395-7633にご送信ください。★弊社ホームページ <http://www.ishiyaku.co.jp/>からもお申し込みいただけます。
医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL. 03-5395-7630